おおみや

富士宮市立大宮小学校 学校だより
学校教育目標 いい笑顔 輝く瞳 光る汗
平成 30 年度 3 月号

「6年生は、魔法使い」～６年生ありがとうの会～

校長　輿水まゆみ

「6年生　ありがとうの会」で、最後の６年生の言葉に、思わず涙ぐんでしまったのは、私だけではありません。

大宮小学校の6年生は、とにかく立派です。下級生の演技や言葉から受けた感動を、自分の言葉に置き換え、真心を込めて話す様は、本当に立派です。

特別支援学級も含め、1年生から5年生まで懸命に、詩を朗読し、文を暗唱し、クイズを出したり、ダンスを披露したり・・・学年の工夫された発表を心から喜び、感謝の気持ちを素直な言葉に置き換えてくれるのです。

「巧言令色鮮（すくな）し仁」とは、孔子の言葉ですが、「言葉巧みで表情をとりつくろっている人は、かえって仁（真心）が欠けている」という意味です。人に何かを伝えるとき、どうしても「話術」人を引き込む術（スキル）を第一に考えがちなものですが、すばらしい、人の心を感動させる話ができる人とは、たどたどしくても、言い回しを噛んでしまっても、心の底から伝えたいと思う言葉を愚直なまでに懸命に伝える人であると、思っています。

孔　子
（紀元前 551 年～紀元前 479 年）

そんな一生懸命話す人を嘲笑う人は、私は逆におろかなかわいそうな人だと思うこともあります。技に勝る心が見えないのですから。

富士宮二中の校長先生が大宮小出身の生徒をとてもよく褒めてくださいます、「伝える力がすばらしい」と。私も二中生の姿に誇らしく思うことがよくあります。この3年間、大宮小の子供たちと共に過ごして分かったことは、ひょっとすると、子供は「魔法にかけられているのではないか」ということです。毎年、集会などで見せる6年生の話す姿には、「伝えたい」という気持ちがほとばしり、感動の拍手を呼び起こします。「大宮小の子供はこうでなければならない」と、具体的に手本を示すことによって、6年生が下級生に「憧れ」の魔法をかけるのです。

そして、魔法は、目には見えない「伝統」として引き継がれ、「文化」として根付き、「誇り」として継承されてきたのだと思いました。

しかしながら、一番力を持っている魔法使いは、地域の皆さん、保護者の皆さんかもしれません。教育心理学では、ピグマリオン効果と呼ぶのですが、「子供に温かなまなざしを送り、適度な期待を掛けることで大きな学習効果が得られる」というものです。「優しい子だね」「やればできるね」「さすがだね」「さすが6年生だね」毎日毎日、魔法の言葉をかけることによって、本当に、子供は魔法にかかります。

大宮小の伝統を守り育ててくださった魔法使いの皆さんに、大きな声で「ありがとう」を伝えたいです。

ようこそ1年生の会　～来年度の１年生が来校～

新入生を迎える会を１年生が行いました。１年生は、小学校に入学してから授業で学んだ歌を歌って聞いてもらったり、新入生といっしょにじゃんけんゲームをしたり、新入生と１年生がペアになって学校探検をしました。

落ち着いた雰囲気の中での迎える会となりました。４月４日の入学式には元気に登校してくれることを楽しみにお待ちしております。

6年生に感謝の気持ちを表そう

もうすぐ６年生の卒業式が近づいています。お世話になった６年生ともお別れのときが近づいています。「心をつなぐ会」では、６年生がこれまでの委員会活動や通学区での取組を話し、下級生を激励すると、５年生と４年生から、「がんばります」という大変元気のよい返事が返ってきました。また、廊下には、七夕まつりのようなカラフルですばらしい掲示で６年生に感謝を伝えています。

また、６年生ありがとうの会を開きました。各学年の合唱や群読などを大きな声で一生懸命行う姿を見ているとそれぞれの学年の成長と、６年生に対する心から感謝する気持ちがを感じました。児童全員で行ったゲーム「猛獣狩りに行こうよ」ではとても楽しいひとときを過ごすことができました。

最後に、６年生が代表の児童から返答と歌を披露してくれました。

卒業まであとわずかとなってしまいました。下級生に伝えられることを教えて欲しいと思います。

茶道体験　～佐野宗静先生をお迎えして～

２月の最後の日に、特別支援学級は茶道体験をしました。講師に、佐野宗静先生をお迎えし、校長先生と御一緒に御指導いただきました。はじめてお抹茶をいただく子供たちも多かったのですが、お菓子をいただいた後で、教えていただいたようになるように気を付けてお抹茶をいただきました。正座をして、とても美しい姿勢で礼も教えていただいたようにできました。和室には大変静かで穏やかな時間が流れていました。

感謝の会　～本年度も御支援ありがとうございました～

１年間お世話になりました区長様、地域安全推進委員の皆様、登下校見守り活動の皆様、学校応援団の皆様にお越しいただき「感謝の会」を行いました。会では、子供たちにお名前を教えていただいた後、参加者を代表しまして神田区長村島様に御挨拶いただきました。

子供の安全を１年間守っていただきありがとうございました。本年度もお陰様で、子供に関わる大きな事故や事件なく終われそうです。本当にありがとうございました。可能でしたら来年度も是非よろしくお願いいたします。

家庭教育学級閉校式

２月 22 日（金）早川園様をお迎えし、日本茶講座を行っていただきました。日本茶について成分とおいしい入れ方など専門的に講話いただきました。

輿水まゆみ校長からも、「知能の発達と環境」と題した講話を行いました。心理的ストレスを長期間受け続けると海馬が萎縮し、長期記憶が難しくなるということから私たちが子供のために環境を整えることが大切であるというお話がありました。

共同学校事務室開設

４月より、体育館一階の地域開放室は共同学校事務室に変わります　～法改正に伴う変更～

これまで、ＰＴＡ活動、地域の行事やスポーツ少年団の会合などで活用されていました体育館一階の地域開放室が、富士宮市の小中学校全体の学校事務の拠点である「共同学校事務室」として開設されることとなりました。日々の学校教育の円滑な運営と新学習指導要領への移行に係わる学校備品の準備等にも迅速に対応できるようになります。この開設に伴い、今後一般開放は行えなくなりました。ＰＴＡ活動につきましては一階会議室か二階和ルームを御利用いただき活動をしていただくこととなります。よろしくお願いいたします。

３月の予定

１日（金）３月スタート集会
４日（月）ノーメディアウィーク（～８日）
６日（水）ドラえもん教室（最終）
１２日（火）ＰＴＡトイレ・水回り清掃（12:35 ～ 13:05）
１８日（月）学級懇談会（特学 13:45　低 14:00　高 15:00）
１９日（火）修了式（１年～５年）
２０日（水）卒業証書授与式
２７日（水）離任式（9:20 教室へ登校）
４月４日（木）始業式・入学式

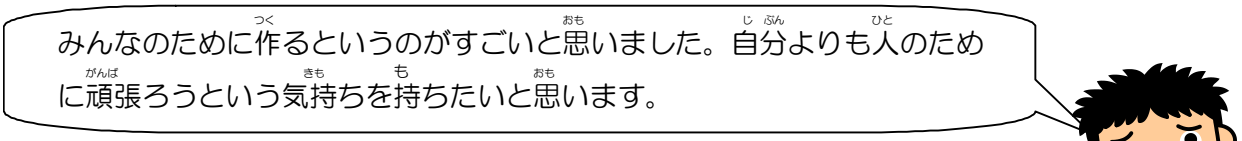
プールではいつの間にか、水鳥が遊ぶようになりました。

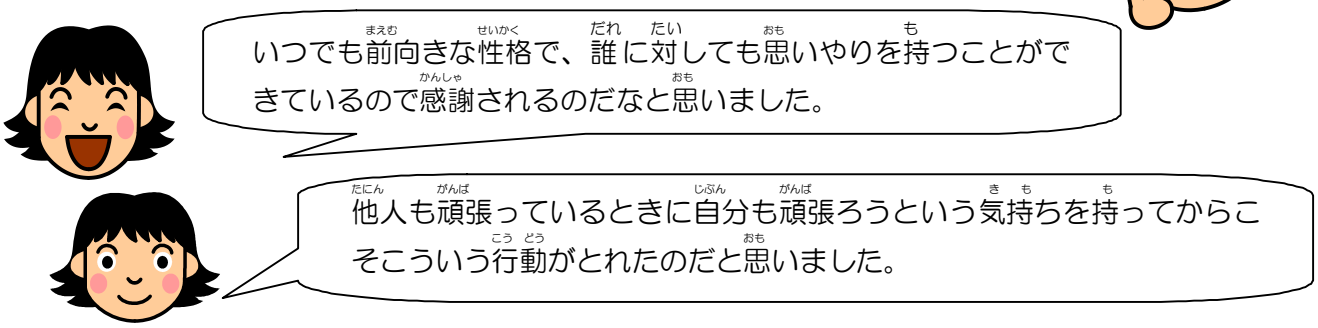
●道徳コーナー

今月は３年生の道徳の授業を紹介します。

今回の道徳資料は「わらじ作り」です。有名な二宮金次郎のお話です。金次郎の父親は、石やどろであれはてた村の田畑の石を取り除く仕事をしていましたが、病気になってしまいました。金次郎はその父の代わりに仕事に出かけ、村人たちが休んでいるときも一生懸命働きました。しかし、いくら働いても大人たちの力仕事ほど十分に仕事をすることはできません。そこで金次郎は仕事でもろくなっていく村人たちのわらじを作ることにしました。金次郎の前向きで責任感ある言動や働くことに対する姿勢について考え合いました。

金次郎のしたことをどう思いますか。



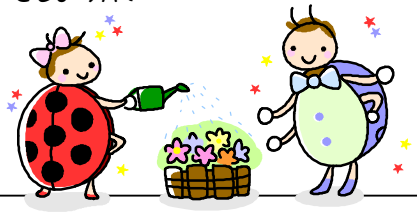


自分が任されている掃除や係など、自分の学校生活をふり返りながら考えることができました。「人のために」という気持ちや、「自分が責任をもってやっていきたい」という気持ちを高めていたようです。金次郎さんの行動をふり返りながら今後の自分の行動を考える機会になりました。

仕事と主体的に向き合う

どのような仕事でも、自分自身がやる気になって主体的に取り組まなければ、「生きがい」や「やりがい」が生まれることはないでしょう。雑用と思って仕事をすれば、その仕事は雑用になります。心を込めて取り組めば、それは雑用ではなくなります。

誰もが「夢に描いたとおりの仕事」に就けるわけではないかもしれません。時には気の進まない仕事を与えられることもあるでしょう。しかし、自分の仕事との向き合い方を見直すと、必ず「他人や社会の役に立つ」という道が見いだせるのではないでしょうか。



『ニューモラル』第565号より抜粋